

カイギショ ゲッポウ Geppou

2026
3
VOL.945



正副会頭座談会【後編】

半田商工会議所
公式LINE



最新情報を配信!



半田商工会議所

快適な環境
充実設備



知多自動車学校

安全講習センター

運転免許取得



普通・大型・中型・準中型
大特・けん引・普通二種

企業・安全講習



従業員の皆様の
安全運転をサポート

高齢者講習



専用フロア完備!

〒475-0916 愛知県半田市柵町2丁目13番地の3



0120-33-3755

公式サイト



ちたじ

検索



snsもチェック♪



摘みたての幸せ、季節のフルーツ、フレッシュないちごが60分食べ放題!



甘くてみずみずしい!



いちご狩り

いちごの
直売も
やってます

駐車場
100台完備
大型バスも
停められます

いちご狩りを
きっと楽しめる
ヒミツのアイテム
販売中!



ご褒美スイーツ登場

いちご狩り料金表

60分食べ放題

要予約

期間	OPEN~ 3月31日	4月1日~ 5月8日 (GW期間+200円)	5月9日~ CLOSE
料金			
大人 (中学生以上)	2,500円	1,900円 (GW2,100円)	1,600円
小学生	1,800円	1,300円 (GW1,500円)	900円
幼児 (3歳以上)	1,400円	1,000円 (GW1,200円)	800円

きれいな
トイレ
バリアフリー
冬場に嬉しいヒーター付き
おむつ交換台あり



市野園芸

年末年始も
休まず営業

営業時間/9:00~16:00(最終受付15:00)
愛知県半田市市代町156-1

要予約 ご予約は電話・HPより承ります!

☎0569-27-7586

<https://www.ichino-15.com>



表紙・・・地元企業で働くアナタ。伝統を紡ぐアナタ。夢に向かって歩むアナタ。夢叶えてイキイキ働くアナタ・・・半田で笑顔で輝いている方をご紹介します。

写真・広報支援 ままのて 代表 富永さおりさん

2025年3月、当所の女性起業家支援助成事業『はんだなごみ(和)サポート』の助成を受けたことを機に、事業主としての自覚が芽生え、仕事への責任感や意識が大きく変わったと語る。それから1年後の今、『らしさ』を大切に仕事スタイルを確立し、親切で丁寧な対応に個人・事業所から依頼が寄せられる。

共創と循環、発酵×観光、 AI・DXによる地域産業創造



地域遺産の活用

発酵食文化を半田発で発信

小柳 愛知県は、「愛知『発酵食文化』振興協議会」を設置し、国内外へ魅力を発信し、世界から多くの人を呼び込むことを目指しています。中でも、知多半島・半田は、活動の中核的な役割を担い、半田市観光協会を中心に取り組みを展開しています。背景には確たる産業である多様な醸造業の存在が大きいと考えます。その役割・存在を今後、継続かつ高めていくために必要なことは何か、お考えをお聞かせください。

小栗 ポイントは2つあると思います。1つは、科学の面でケミカルからバイオへの復帰であり、元々はバイオだったものが、高度成長期に石油化学が入り、ケミカルな科学技術が急激に進みました。ただ化石燃料による環境問題が出てくる中で、バイオ・微生物の力が凄く注目されてきています。バイオテクノロジーが21世紀、これからかなり注目されてくる中であって、愛知県地域はバイオテクノロジー、発酵技術・醸造技術の集積地です。2つ目は発酵技術・醸造技術を見た時に日本のどこが集積地か？の問いに、日本中、「我こそは発酵のメッカ」という所があちこちにあります。醤油は千葉、味噌なら長野と、「アイアムナンバーワン」と言っている人が多いです。確かにそうですが、酒、醤油、味噌、味噌を作っているという総合力で見ると圧倒的に愛知です。集積というのは大事で、醸造・発酵技術、特に食文化が集まっている愛知がそこに目を向けて、総合的に開発していこうという振興協議会を作り、力を入れていくというのは大いに期待できます。観光に

目を向けると、インバウンドで海外から来る人たちが観光の目的が何かといえば、そのナンバーワンが「食」、食べることを目的に日本にやって来るので、この日本固有の文化である味噌、醤油などの発酵食文化を、ぜひ愛知から呼び込みできるような発展の仕方をしていけたらと思います。その中でも半田が今は中心的な存在なので、この勢いで発酵食文化を半田発で発信していけたらいいかなと思います。

小柳 バイオという観点から見ると、バイオガス発電で持続可能な社会の実現に貢献する事業を積極的にやられている水野副会頭は先進的な取り組みですね。

水野 本当に、バイオ時代が来たという感じですよ。愛知県知事が発酵食文化と言われこれをコンテンツにしていますが、その中で半田は今中心的な存在になっています。このまま走っていくべきだと思いますし、総合力と空港という利点からいうと愛知県は凄いなと思います。キーワードは連携で、地域それぞれの連携、官民学金の連携。学は地域とかストーリーが入ってくるとより美味しく感じる所があり、外国の方はそういったものを求めているでしょう。そのような連携が半田の中でコンソーシアム形成をしていけば面白いと思っています。ちょっと違う形ですが、観光造成していく時に私の業界も入れていただくと、循環型社会の一つの形として、発酵の循環という表現が出来ると思っています。

間瀬 私たちは、発酵は愛知県であるということを知っているが、若い世代は半田が発酵のまちとあまり知らないように思います。アピール不足でしょうか？

小栗 例えば愛知県の食品工業センターの発酵部門を半田赤レンガ建物、もしくは病院の跡地にでも半田市、愛知県の協力を得て誘致するのも一つの手段かもしれません。食品工業センターは施設も老朽化し、古い機材類を使用しています。新しい施設を半田で作って見学コースを併設したらみんな来てくれるメッカになり、名実ともに『半田は発酵のまち』になります。

松石 事あるごとに「発酵は半田です」とアピールしています。いろいろなところで発酵の話が出た時に、半田というキーワードが出てきますが、有機的に繋がってはいません。今、言われるようにメインになるようなものが見えていないということでしょうか？市は様々な制約の中で動いているので、具体的なビジョンが作れないこともありますので、私たちが率先して動いていかなければならないことはあるでしょう。

小柳 半田市の特徴の一つとして、一次産業が挙げられます。産業活性・産業創造・社会課題対応などの視点で、一次産業分野との更なる繋がりや協働に可能性を持っています。半田市では、6次産業化を通じた農業者支援を継続しており、商工会議所もそのパートナーとして、共に価値を高める連携をイメージしています。一次産業分野との連携については、いかがお考えでしょうか。

松石 一次産業というと、酪農、野菜、米、果物、生花などになるかと思いますが、農業従事者の高齢化が進んでいく中で法人化を進めるなど、一定規模を持つ一次産業に取り組みなければ成り立っていかないのではと推測しています。今までは一次産業として区分けしていたが、6次産業化も含め法人化した組織と商工会議所との連携が高まり、新たな組織づくりの可能性も出てくるよう一緒に地元の産業を盛り上げていく必要があるのではないかと思います。

水野 将来の日本の農業を考えた時に法人化は必須の流れだと思います。法人化することによって生産性の更なる引き上げや、資金繰りの課題がありますが、やる気のある農業従事者が法人成りしていくために商工会議所としてどのように支援し、育てていくかがポイントになると思います。モノづくりの視点で農業を見ていくと、産業としてどのように発展していくかということになります。国の支援を受けなければ成り立たない農業ではなくて、自立自走して価格の決定権を持てる農業へと転換していかなければならないと考えています。

小柳 愛知県はオープンイノベーション拠点『STATION Ai』を設置し、半田市はパートナー企業として取り組みが始まり、半田

商工会議所は協働しております。産業活性、価値創造に向けたSTATION Aiの活用、スタートアップ企業との連携など、お考えをお聞かせください。



小栗 大事なことはスタートアップというよりオープンイノベーションという考え方ができるかどうかです。先ほど情報の民主化と言いましたが、要するにイノベーションも民主化されてきて、今までは大きな会社が、例えばトヨタ自動車が優秀な研究者を雇って膨大な研究費をかけて電気自動車、水素自動車を開発してイノベーションを起こす研究をしてきました。しかし今ではイノベーションしてくれる会社があって、「うちの会社こんなことやりたいのだけど」と言ったら、それを手助けしてくれるような仕組みが出ています。多くの中小企業の方はオープンイノベーションという考え方を、自社の経営資源として組み込んでいないと思います。今テクノロジーによっていろいろなことが民主化され、縁故があるか金があるか、そういう人しか特別な技術を手に入れることが出来なかったが、例えばコンピュータシステムでも今はクラウドで大型コンピュータを保有しなくてもハイパワーの計算能力は本当に安い費用で使うことができます。クラウド上で使えるから自社でサーバーを置かなくても良いし、ましてやサーバーを維持管理する専門家を置かなくても、時間単位で計算パワーを借りることが出来ます。研究用なら一定期間無料でハイパワーコンピュータが使える、こういう時代になってきています。

イノベーションを起こそうと思った時に、オープンイノベーションの仕組みを使うことで、新たなサービス、商品開発が可能で。私としてはオープンイノベーションの活用というビジネスの方法があることを、多くの人に知っていただきたいと思います。STATION Aiが身近にあり、オープンイノベーションを体験出来るような施設、オープンイノベーションを活用する際に、スタートアップ企業と触れ合うことが出来ることを、半田商工会議所の会員事業所にも是非体験していただけると良いかなと。会員事業所の中でも以前から異業種交流会でビジネスが上手く繋がったということがありますが、その発展系に近いのかなと感じています。目的意識が明確で、緩やかというよりかなり尖った形で繋がる事が出来ます。オープンイノベーションという考え方を皆さん早く取り入れられると良いのではないのでしょうか。全てが上手くいく訳ではありませんがお勧めです。商工会議所の取り組みの一つにしていきたいと思います。



会頭 松石奉之



副会頭 間瀬朱実

副会頭 中埜喜夫

行政連携と会議所の機能強化 地域の持続的循環を生む

小柳 中心市街地活性化の話を進めてまいります。中心市街地活性化は今期も引き続き大きなテーマになってくるものと考えています。中埜副会頭が協議会会長を務められております。取り組みの現状、これからについてお聞かせください。

中埜 始まったばかりで、先の長い地道な努力が必要と思います。早急に結果を出さなければいけません。人口減少の中でどのように活性化できるか？かつてのような商業地区としての活性化は難しいと思いますが、必ずしも大きな商店街やアパート群ができるだけではなく、住みやすく、暮らしやすい“コンパクトタウン”が出来ればと考えています。車を手放した郊外居住者や、市外からの転入者が、住みやすさを求め集まるようなエリアにしたいと思います。同時に半田の中心市街地エリアには、それぞれ素晴らしい場所も残っています。良い雰囲気を残しながら、住みやすい街並みを形成していけば、結果として人が集まり活性化する方向に運ぶことが出来るのではないかと思います。

小柳 直近で確実に変化していくのが、知多半田駅東側ロータリーの改修です。具体的に計画が進められ整備に移っていく段階で4年後くらいには完成予定です。状況の変化の中で、クラシティ始め既存ストックの利活用が改めて促され、知多半田駅地域の機能向上、賑わいを高めていくことにも繋がると思われます。更には10年後、20年後には名鉄河和線の高架化も現実的な話になってくると思います。知多半田駅前地域の新たな可能性等についてお聞かせください。

水野 名鉄知多半田駅前の難しさは区画整理をしてから20年経っていることです。20年の時間を使い発展してきたかという、時代の逆風もあり、そうではないというところもあります。昭和の時代に計画され、都市計画決定は平成6年、施工されたのが平成10年、その間の空白の30年の間に日本経済の停滞時期があり、昭和の頃の地代が2%ずつ上がりますというような絵をかつては描き、それが完全に破壊された後にまちづくりは行われました。全くもってミスマッチですが、今、久世市長がもう一度、名鉄知多半田駅前だけでなく、JR線の高架化を起爆剤にしながら、市役所、運河辺りも捉えて中心市街地にして発展させていく構想を持ちスタートラインに立っています。

基本計画は令和7年度、おおまた公園周辺も含め着手していきますが、その流れを地元の人たちが活かしていくことができるか、人材の発掘と人材を活かしていく組織、また、どのように支え

ていくかということが、これから中心市街地活性化協議会の重要な役割だと思います。その役割を担うのが市と商工会議所だと思います。一つ一つ丁寧に積み重ねていくしかありません。10年、20年かかるとは思いますが、10年経つと人は10歳年とってしまうので、次を担ってくれる人たちにちゃんとバトンを渡していけるような環境を私たちが整えていくことだと思います。

小柳 中心市街地活性化は、20年、30年という長い歴史がある中での動きですが、改めて今がスタート段階だと思いますので、一つずつ丁寧に進めてまいります。企業の経営支援、稼ぐ力の強化という視点で、商工会議所の根幹である会員事業所への支援の取り組みに関して触れていきます。皆さん自身も経営者ですが、収益力をどのように築いていかれているか。様々なコスト負担が増大する中、企業各社は価格転嫁を意識し、対応していくことが求められます。地方であればあるほど、規模が小さいほど苦勞が多いのが現実的なことです。収益力の低下は競争力の低下へと繋がり、更なるマイナスのスパイラルになります。株価は上昇し、賃金も大企業中心に上がっていますが、地域の中小規模事業者ほど実際のところは厳しい。実態をいかに捉え対応していくのが商工会議所としての役割です。経営者の立場にある皆さんからお聞かせください。

松石 東京を行き来する際、富士山を眺めながら、頂上の雪が被っている僅かな所が日本の大企業で、あと広がっている裾野が中小企業といつも見ています。この裾野があるから大企業があるとも。私たち商工会議所の会員は、私も含めて本当に小さな企業で、実態としては都市部と異なり本当に苦しい状況です。商工会議所の果たすべき役割を見た時、「真に会員事業所の実態が分かっているだろうか？」という視点を更に掘り下げて見ていくべきだと思っています。

例えば今、商工会議所の経営支援といえば中小企業相談所が担当しています。また、会員事業所へのあおぞら共済の加入勧奨を全ての職員が担当しています。本来、あおぞら共済に加入することで、従業員の福利厚生制度の充実、安心して働ける環境づくりに寄与しているというような視点を伝えなければ経営者に寄り添った経営支援にならないと考えており、会員事業所が何を求めているのかをもう一度見直してみるべきと感じています。商工会議所とパートナーを組むアクサ生命保険の経営者大型補償の保険は、会社のための保険であり、私(経営者)に万が一が生じた時に会社にいくら残るのか？などが大事な視点です。経営者だからこそ会社を存続させるため保険が必要であり、その視点で保険の勧め方などを考えることが重要です。『あなたの会社のために半田商工会議所ができること』をきちんと会員事業所に届ける必要性を強く感じています。



副会頭 水野貴之



副会頭 小栗宏次



専務理事 小柳 厚

水野 厳しい時代だからこそ中途半端ではなく、勇気ある助言も必要だと感じています。過去の業歴を見ながら具体的な改善策を示すことは事業の見直しにも繋がります。それぞれの人生があり、自分の持ち時間もありますので、良い方向に向かうように伴走していくのも商工会議所の役割であり、大事なことだと思います。

間瀬 商工会議所の最終目標は今ある会社が良くなることだと思います。私が金融機関に入った頃は全国で600万社の企業がありましたが今は330万社、約半分です。かつては7割が黒字経営でしたが、今や赤字経営が7割となり厳しい時代に入っています。米国の金利引き下げ、日本の金利引き上げ、それでいてなぜ円安になっていくのかおかしな話で、異常な状態ともいえます。価格転嫁が進まない中、企業は収益を上げないと存続できない状況になっています。協力して伴走支援をしていくのが当金庫の立場であり、商工会議所としても、水野副会頭が言われたように企業が良い方向に向かうよう伴走していくことが使命だと思います。

小柳 商工会議所としてそこは直視していく部分かと思います。アドバイスいただきながら進めてまいります。産業振興、経営支援、稼ぐ力の強化等をテーマに商工会議所としても進めてまいります。一方で商工会議所が地域経済の中核となり、地域の成長の牽引役としての立場が求められます。その役割を果たすためには商工会議所自体の更なる機能強化が不可欠になっていくと考えています。

会頭には1期目に700件を超える事業等の対応をしていたとき、その中には地域別会員懇談会として正副会頭に会員事業所との対話や、商工会議所の事務局職員との定期的な情報交換にも対応いただき、商工会議所として適宜適切な施策展開を進めていただいています。今後一層、商工会議所の支援機能や存在意義が重要となる中、商工会議所の課題解決、真に会員事業所に役立つ組織への変革など、お考えをお聞かせください。

松石 私も商工会議所とは何？というところからスタートし、少しずつ見えてきた部分もありますが、時代が大きく転換しています。間瀬副会頭に言われてドキッとしたんですが、企業数が減り多くの企業が赤字になっていく。企業経営者として大きな課題であり、日本全体の経済が凄く沈んでしまい、より先行して沈んでしまうのが地方ということになれば、半田を中心としたこの地域をどうやって作っていくのが商工会議所の大きな役割だと感じています。次世代にこのまちの経済、まちを残していくことを考えないといけない。そのために若い人たちに次の時代をどうやって担っていただくのか、私たちがチャンスやきっかけをつくり、活躍していただくよう仕掛けていかなければと思います。

新たに『未来ビジョン研究チーム』を設置しました。商工会議所活動は携わっていなければ分からない面も多く、若い人たちに早くから関わり理解をしていただきたい。また、商工会議所が発言したことを行政機関が受けとめてくれることも多く、地域経済を代表する立場として商工会議所が持つ力は大きいものがあります。その力をしっかり発揮し、次世代、その次の世代にも承継していくことが大切です。

中埜 久世市長が令和3年に就任して以降、商工会議所と市の経済産業分野が協働していくことを前面に出され、商工会議所として応えていかなければいけません。正副会頭だけでなく、会

員事業所の協力を得るなど、商工会議所が総力を挙げなければいけないと感じています。私は9年前、最初に副会頭に就任した時に思いましたが、商工会議所の存在意義は何か、かつては商工会議所に相談に行けば教えてもらえるという意識でしたが、今はインターネットの発達で、少しコンピュータを叩けば教えてもらえます。生成AIでもっと簡単に世の中のことが分かるようになり、商工会議所の存在意識そのものが問われることにもなりかねません。商工会議所職員の機能、商工会議所本来の目的のレベルを相当上げることが必須です。更には、半田だけでなく広域の発展を考えるのが大事です。創立も古く、歴史のある商工会議所として半田商工会議所が音頭を取り知多半島全体を持ち上げるような活動を展開していくことが大事だと思います。

水野 自治体との連携は今まで以上に強化していくことは必至、かつ愛知県や国との繋がりをどう築いていくか。国の方向性、予算の視点など、半田市と一緒に考え、私たちがまちのビジョンを半田市と一緒に描いていき、最終的には私たちが指揮者の役割を担うことだと思います。全国で予算は取り合いなので、その中でどれだけやる気があるのかを見せていく。民間ならではのセンスを発揮することで私たちが半田市を牽引し相乗効果を高めます。市外から人や消費、様々なものを巻き込み、呼び込むとともに、地域内循環で経済を外に逃がさないようにしていく流れは他の諸団体では困難なことから、商工会議所の大きな役割だと思います。

松石 昨年11月、名鉄河和線の高架化について大村知事を訪問した際、名鉄河和線の東側と西側の人口を調べ、概ね東側人口6割、西側人口4割であることを理解しました。知事にはそのような実状を含め必要な措置をと理解を求めましたが、私たちが実データを示しながら協力を求めていくことが重要です。

急激な時代の変化に応じ、変わることの必要性を再三申し上げてきました。委員会、部会も会員事業所のために、いろいろ工夫を重ね事業を計画されています。その一方で、考えが硬直化し、前例踏襲的な取り組みに陥っていると感じることもあります。この3年間は部会運営委員の皆さんだけでなく、職員も一緒に、所属している会員事業所の皆さんに響く事業にチャレンジしてほしいと思います。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



金融支援 経営支援 で地域事業者のみなさまをサポート！

資金繰りのこと・経営のことなど
お気軽にご相談ください！



相談は無料です！



0120-454-754



AICHI GUARANTEE
愛知県信用保証協会



総合ケミカル建材メーカーとして街に世界に新しい価値を
確かな技術革新で未来へつなげる新型製品を提供し続けます

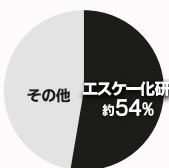


建築仕上材の総合メーカー

エスケー化研株式会社

各種内外建築用塗料、合成樹脂塗料、特殊塗料、無機質系塗料、無機質建材の製造販売及び特殊仕上工事の請負
不燃断熱材、耐火被覆材、耐火塗料の製造販売及び耐火断熱工事の請負他

建築用仕上塗材シェア



2013年NSK
(日本建築仕上材工業会)
の統計による

業界No.1

名古屋工場 〒475-0032 愛知県半田市潮干町 1-2 TEL : 0569-29-3700

<https://www.sk-kaken.co.jp>

税理士法人 経世会

Keiseikai Licensed Tax Accountant Corporation

本社事務所：愛知県半田市栄町2丁目59-1

支社事務所：名古屋事務所・東京事務所

- 税務・会計顧問
- 相続税申告・相続対策
- 事業承継コンサルティング
- 医療・公益法人等対応
- 経理サポート

TEL : 0569-21-2145

<http://www.keiseikai.co.jp>

プロモーション・採用



ドローン撮影



映像制作と放送プランで御社をPR
ご予算に合わせて制作します
お気軽にご相談ください

制作事例はこちら



季節の生菓子
季節の抹茶菓子
松かげ
銘菓のつどい
干菓子とりどり
どら焼き
カステラ
雁宿おこし
みそ松風
羊羹各種
美味しい和菓子を
多数取り揃えて
お待ちしております。



◆華◆ 松華堂

〒475-0887
半田市御幸町103番地
0569-21-0046

松華堂茶寮

Café de Shokado

〒475-0857
半田市広小路町155-3クラシティ1階
0569-58-7746

楽しいこともっと夢はいつも無限です



知多カントリー倶楽部
〒470-2531 愛知県知多郡武豊町富貴久原1-111
Tel 0569-73-2111



Since 1896 Nakari

中利株式会社
愛知県半田市協和町1-31 〒475-0854
TEL (0569) 21-0912 FAX (0569) 23-7660

中利株式会社謹製

地域とともに！
安心、信頼の にしん へ

西尾信用金庫
<https://www.shinkin.co.jp/nishio/>



成岩支店 ☎ 24-6000 半田支店 ☎ 26-1188 亀崎支店 ☎ 28-6800

SteelInc
NEW STEEL AGE

テクノロジー・エクセレントカンパニーを目指して

NIPPON STEEL | 日鉄精圧品株式会社

精密冷間鍛造品 自動車部品

本社・工場 〒475-0033 愛知県半田市日東町1番地 TEL0569(22)1811(代)
東京支店 〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-11 日本橋橋ビル4階
米国拠点 Indiana Precision Forge, L.L.C.
タイ拠点 Thai Precision Products Co., Ltd.
URL <https://www.nspf.nipponsteel.com/>



お肉と手作りハム・ソーセージの店

株式会社 ブリオ

〒475-0977 半田市吉田町 4-173
TEL (0569) **20-5410** FAX (0569) **20-5415**



伝える力を、作る力 (株)トップサイン

市内住吉町で、看板屋を営む同社。同社には、大手広告代理店からの依頼が多数を占めており、愛知県のみならず、岐阜県、三重県、静岡県、大阪府など手広く多方面に活躍している。依頼は、大手広告代理店からのBtoBのみならず、市内を始めとする近隣地域の消費者から、BtoCの依頼もある。同社は、代表取締役の本田員啓（カズヒロ）氏の他、専務取締役の純也氏、ゼネラルマネージャーの翔也氏という家族経営であり、まさに少数精鋭という言葉が似合う会社である。看板といっても、内容は様々。店舗看板・自立看板・電飾看板・外壁ラッピング・屋内装飾・大型野外看板・切文字看板・カーラッピングと制作事例を見ても多岐にわたる。

「看板は、【ただの目印】以上の役割がある」と、純也氏は言う。同社が看板作成に特化して、これまで多くの依頼を受けてきたのも、信念があったからこそ。看板は、店舗や企業の顔として、【どんな業種か】、【どんな雰囲気か】、【入りやすいかどうか】を無意識に伝えるものと考えている。同社では、目的や立地に合わせて、【伝わる看板】を提案することを心掛け、現地調査から、設計・施工まで、一貫して対応を行う。そして、要望には極力スピーディーに応えることを第一に考えている。スピーディーに応えることで、依頼した店舗や企業が、伝える時間も増える。同社の対応速度が、店舗や企業の売上に直結するのだから、役割は非常に大きい。

同社は、本田社長が、平成11年に個人事業から立ち上げ、平成20年に法人成。創業30周年まであと僅かである。独立当初は決して順調とはいえ法人成を機に軌道に乗ってきており、ここ数年は売上が大台も達成できてさらなる飛躍が期待される。これからは、息子でもあり専務取締役でもある純也氏

が、右腕的存在から、いよいよ中心となってくるのではないだろうか。社長は、「5年を目処として、事業承継を視野に入れている。」と話し、純也氏も「今ある仕事に満足せず、地域に根付いた仕事も取り入れ、売上拡大したい。」と意欲的に答える。かといって、昔ながらの手書きも無くすことはしないと書いたように、新旧合わせた技術での経営展開を考えている。



手書きで仕上げた山車蔵シャッター

純也氏にも仕事に対する考えやプライドがある。当所青年部では、理事を務め、令和8年度からは、常務理事として組織の根幹を支える。技術のみならず、青年部での交流を基に、更なる経験を培って、企業経営にも活かしていくことが期待される。

これからの展望を尋ねると「3年間で売上を3倍、行政ともタッグを組んで、防災に役立つような看板作成を行い、未来ある子どもたちの役にも立ちたい。未来を創ることに賛同いただき、力を貸してくれる社員も募集中です。」と返ってきた。父である社長が基礎を固め、純也氏がさらなる展開を図る。差し詰め自立看板の如くである。今後も店舗や企業の【伝える力】を高めるべく、同社は惜しみなく技術を投入していく。意外にも、道すがら眺めている看板が、同社が手掛けたものかもしれない。

(取材：榊原鉄平)



【住所】 半田市住吉町2-150
【代表者】 本田員啓
【営業時間】 8：30～17：30
【定休日】 土曜日・日曜日
【TEL】 0569-32-3080

【許認可】 鋼構造物工事業 愛知県知事許可 第68333号
屋外広告業登録済証 愛知県 第725号
屋外広告業登録済証 名古屋市 第1232号



経営お役立ち情報

日々の経営に役立つ情報をお届けするコーナーです

小規模事業者持続化補助金〈一般型〉第19回公募スタート！

本補助金は、小規模事業者が行う販路開拓や生産性向上のための取り組みに対し、事業計画に基づいて費用の一部を補助する制度です。第19回の公募が始まりました。ぜひこの機会をご活用ください。

補助率	2/3(賃金引上げ特例活用事業者のうち赤字事業者は3/4)
補助上限	50万円
インボイス特例	インボイス特例の要件を満たす場合は、上記補助上限額に50万円を上乗せ
賃金引上げ特例	賃金引上げ特例の要件を満たす場合は、上記補助上限額に150万円を上乗せ

【特例要件】

- インボイス特例⇒免税事業者のうちインボイス発行事業者の登録を受けた事業者
- 賃金引上げ特例⇒事業場内最低賃金を+50円以上とした事業者

申請受付開始：3月6日(金)

申請受付締切：4月30日(木) 17:00

事業支援計画書(様式4)発行の受付締切：4月16日(木)

※ 事業支援計画書(様式4)については、受付締切以降の発行依頼は、いかなる理由があってもできませんので、ご注意ください。

また、申請要件を満たしていないと判断される場合も発行はできません。

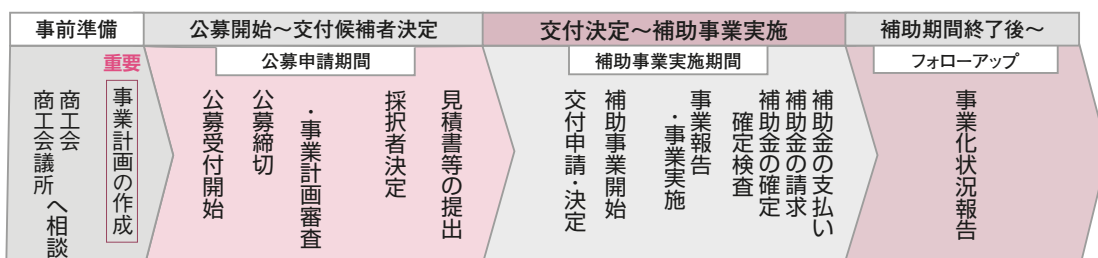
※ 申請には「GbizIDプライム」のアカウント取得が必要です。未取得の方は必ず事前に利用登録を行ってください。

GbizIDを取得 <https://gbiz-id.go.jp/top/>

■ こんな取り組みが対象に！

- ・ホームページの新規作成
- ・チラシ・パンフレットの作成・配布
- ・新商品PRのための広告掲載
- ・店舗改装や看板設置
- ・業務効率化のための機器導入など

※ 詳しい対象経費は公募要領をご確認ください。



補助金HP

『事業計画書』は、小規模事業者持続化補助金の活用にも必須です！

補助金獲得、事業成長にも…事業計画書策定のススメ

事業計画書は、経営の“羅針盤”であり“成長の地図”です。「書くのが難しい」「時間がない」と思うかもしれませんが、事業計画書を策定することで、自社の強み・弱みを改めて見つめ直し、将来の方向性を明確に描くことができます。

■ なぜ、事業計画書が必要なのか？

✓ 経営の“見える化”ができるから

事業の現状や課題、今後の展望を整理し、頭の中にある構想を言語化することで、日々の意思決定がぶれにくくなります。

✓ 計画性のある経営に切り替えるため

行き当たりばったりの対応から脱却し、目標に向かって着実に進む経営スタイルに変えることができます。

✓ 従業員や関係者と方向性を共有するため

どこを目指して、どのように進んでいくのかを伝えることで、社内の意識が統一され、協力体制も強化されます。

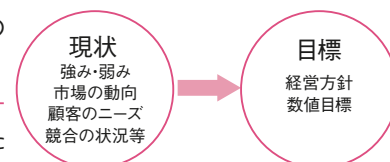
✓ 外部の信頼を得るため

融資や補助金の審査、取引先との交渉でも「しっかりした計画がある」ということは、大きな信頼材料になります。

■ 経営計画の仕組みについて

計画は「現状の把握」、それを踏まえた「目標設定」、その目標を達成するための「取り組み」の3つで構成されています。

計画を策定するにあたり、事業の現状である「**自社の強み・弱み**」「**市場の動向・顧客ニーズ**」「**競合の状況**」を検討いただき、それを踏まえた「**目標**」を設定して、その目標を達成するための「**プラン(取り組み)**」を練る、という順序で考えていきましょう。



目標を達成するために有効な取り組み



開催直前！

令和8年 企業向け補助金・助成金説明会のご案内

中小企業・小規模事業者の取り組みには、多くの補助金が用意されています。補助金を活用するには、どのような補助金があるかを知っていないと活用できません。

そこで、令和8年に実施される補助金・助成金について、下記のとおり説明会を開催します。ぜひご参加ください。

日時／令和8年3月9日(月) 14:00～16:00

場所／半田商工会議所

内容

<第1部> 14:00～15:30 「令和8年 国の企業向け補助金・助成金について」

令和8年に実施される新しい補助金・助成金、継続する補助金・助成金またその変更点などを説明します。

早めに情報を知り、活用に向けた準備を始めましょう。今年は、経済産業省・厚生労働省の支援策をダブル解説します！

<第2部> 15:30～16:00 「補助金事業計画策定のワンポイント」

押さえておきたい事業計画策定のポイントを知れば、事業実施したくなります。

補助金・助成金
説明会申込フォーム▶



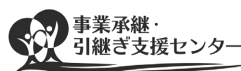
参加費 無料

定員 50名

主催 半田商工会議所

共催 常滑・東海・大府商工会議所

【連載コラム 会社の未来を守る!事業承継スタートガイド】



第9回 外部支援サービスを活用しよう ― 専門家の力を借りるための事前準備 ―

事業承継は、経営・法律・税務・人の問題などが複雑に絡み合うテーマです。知識も体力も求められるだけに、「どこから手をつけてよいかわからない」という声が多く聞かれます。

そんなときこそ、公的支援機関をうまく活用することで、着実な一歩を踏み出せます。

■ 公的機関は「相談窓口」として活用

全国に設置されている「事業承継・引継ぎ支援センター」は、事業承継に特化した無料の相談窓口です。事業承継に関する不安や疑問を丁寧にサポート。制度や進め方の情報提供を受けながら、方向性の整理を進めることができます。

■ 弁護士・税理士・金融機関との連携も視野に

契約書の見直し、株式や不動産の評価、相続対策、資金調達といった実務面では、専門家の関与が不可欠です。センターでは、相談内容に応じて弁護士・税理士・司法書士・金融機関などとの連携を見据えた相談を行っています。直接の業務代行は行わないものの、適切な判断と行動のための情報の整理を支援しています。

■ 一人で抱え込まず、まず相談を

「身内だけでは話にくい」「そもそも何を整理すべきかわからない」―― そんなときこそ、第三者の視点が役立ちます。公的な機関だからこそ、中立的かつ守秘義務のある安心な環境で、気軽に相談が可能です。

次回予告：「事業承継後の経営サポート」

承継は終わりではなくスタート。今回は後継者を「引継ぎ後」も支える支援策をご紹介します。

愛知県事業承継・引継ぎ支援センターでは、
無料相談を随時受付中です。

「まず話を聞いてみたい」そんな一歩から、私たちは伴走します。

お申込フォーム： <https://shoukei-aichi.go.jp/>

(右上のQRコードから読み取りも可能です)

●半田市 事業承継個別相談会 開催中●

日時：毎月第3月曜日(第3月曜日が祝日の場合、翌日の火曜日)

①10:00～11:00 / ②11:30～12:30

場所：半田市役所会議室

予約方法：相談希望日の1週間前までに半田市産業課へ申込み

詳細・申込・
予約状況はこちら▶



3月 個別相談会・セミナー スケジュール

お問合わせ：当所中小企業相談所

ご相談希望の方は当所までご連絡ください。その他、法律・労務・ITなど随時開催の相談もございます。

3/ 4(水)	10:00～12:00	税務相談
3/10(火)	9:00～17:00	経営相談(事業計画・各種補助金など)
3/11(水)	10:00～12:00	税務相談
3/19(木)	10:00～12:00	金融相談(日本政策金融公庫・国民生活事業)
3/19(木)	13:00～15:00	金融相談(愛知県保証協会)
3/26(木)	9:00～17:00	経営相談(事業計画・各種補助金など)

半田景気動向実態調査結果

(令和7年10月～12月期)

継続している物価高及び最低賃金改定など、コスト負担増加による利益圧迫は続く見方

当所では、地域商工業者の皆様から経済動向等に関する情報を収集し、その分析を行っています。

今回、令和7年10月～12月期の調査結果をまとめましたので、ご報告します。

調査概要

【調査時期】四半期毎に調査（年4回実施）
【調査期間】令和7年 12月1日～12月19日
【調査対象】当所会員 100社
【回答企業数】100社（回答率100%）

業種別回答数

業種	回答数	業種	回答数
製造業	20	建設業	20
卸売業	7	小売業	20
サービス業	33	合計	100

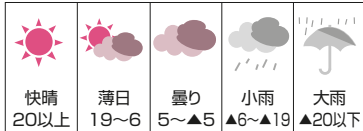
1 現在及び今後の景況感(全業種)

()内は前回調査時、「来期の景況予想」DI値

	前期の景況感 (令和7年7月～9月)	今期の景況感 (令和7年10月～12月)	来期の景況予想 (令和8年1月～3月)
DI値	▲21.0	▲24.0	▲21.0
判定			

全業種の業況判断DI値は、前期より悪化し、▲24.0となった。
来期は▲21.0と今期よりやや改善する見通しとの回答があった。

景況天気図(景況感を天気図で表しています)



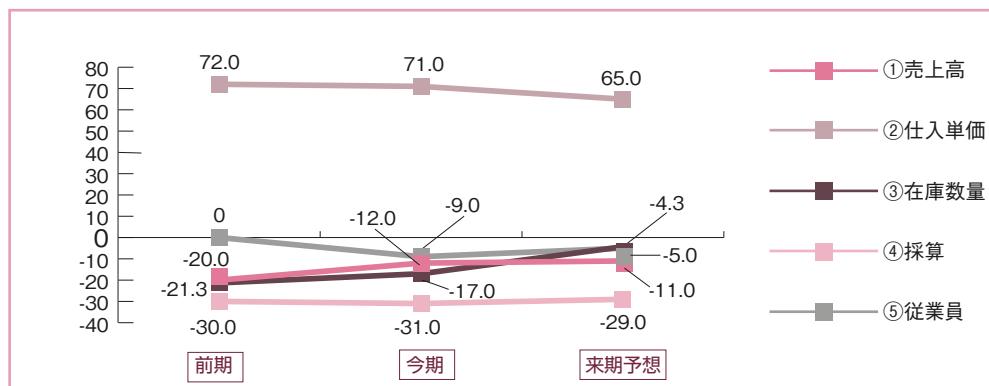
DI値

調査項目の基準値をゼロにして
・プラス値は景気の上向き傾向(良い)・マイナス値は下向き傾向(悪い)を表している
景況判断の指標です。
DI…(ディフュージョン・インデックスの略)

2 業種別景況感

	前期の景況感 (令和7年7月～9月)		今期の景況感 (令和7年10月～12月)		来期の景況予想 (令和8年1月～3月)	
	DI値	判定	DI値	判定	DI値	判定
製造業	0.0		▲15.0		▲25.0	
建設業	5.0		0.0		▲10.0	
卸売業	▲57.1		▲42.9		0.0	
小売業	▲50.0		▲60.0		▲50.0	
サービス業	▲24.2		▲18.2		▲12.1	

3 項目別業況判断DI推移比較(全業種)

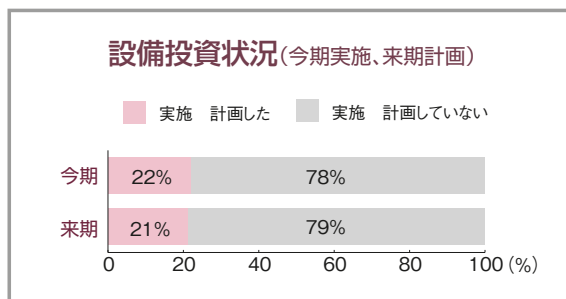


(今期)

- ・売上高は8.0ポイント増加
- ・仕入単価は1.0ポイント減少
- ・在庫数量は4.3ポイント増加
- ・採算は1.0ポイント減少
- ・従業員は9.0ポイント減少

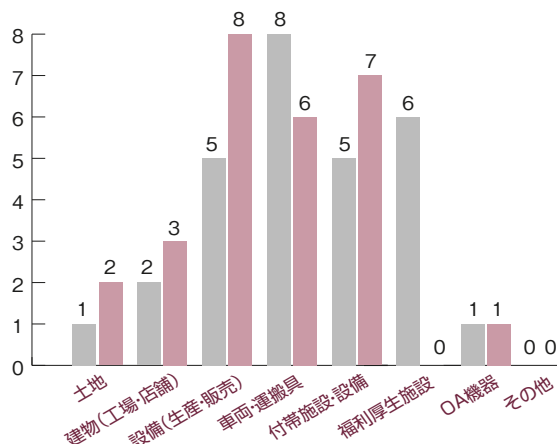
	前期	今期	来期予想
売上高	▲20.0	▲12.0	▲11.0
仕入単価	72.0	71.0	65.0
在庫数量	▲21.3	▲17.0	▲4.3
採算	▲30.0	▲31.0	▲29.0
従業員	0.0	▲9.0	▲5.0

4 設備投資の状況(全業種)



設備投資内容 (今期実施、来期計画)

■ 今期
■ 来期



まとめ

全体的に景況感は悪化している。高齢化や人口減少に対する危機感、ならびに物価高による需要縮小への懸念の声が多く聞かれた。加えて、原材料価格の高騰や最低賃金の見直しに伴う人件費の増加、輸送費や資材費など各種コストの上昇が続く一方で、価格転嫁がスムーズに進んでいない事業者が多く、仕事の受注量は一定程度確保できるが、利益減少構造に陥っているとの声も聞く。
また、人材不足に悩む事業所は依然として多く、AIの活用や省力化推進など、事業環境の変化に対応していく必要がある。こうした状況を踏まえ、商工会議所としても、地元企業をより多くの方々に知ってもらうための取り組みとして知多地域就職情報センター【チタジョブ】による人材発掘採用支援など、事業者が直面している課題に寄り添いながら、支援および情報発信を積極的に行っていきたい。

ぴったりメガネは確かな技術から

メガネの総合専門店



メガネのモミヤマ

■ 補聴器サロン（成岩店 2F）

年中無休／駐車場完備

半田市東郷町3-35-2（Cフェスタすぐ北）

TEL.0569-21-1450

メガネのモミヤマ

検索

電気工事設計施工

株式会社久米電気商会

代表取締役 久米宏和

〒475-0023 愛知県半田市亀崎町3丁目225番地

TEL (0569) 28-0266

FAX (0569) 29-3431

E-mail kume-hd@estate.ocn.ne.jp

株式会社

久米電気商会



食の蔵
酒屋

名鉄青山駅より東へ徒歩5分 日曜定休

〒475-0837 半田市有楽町6-120 ミキビル有楽1F

TEL.0569-26-0348

不動産の解体、そして価値ある再生へ

建物解体のプロフェッショナル

として迅速、安全、そして確実に

不動産価値への再生へと導くためのプロセスを
お手伝いします。

解体×再生



総合解体業



松島有限会社 松島商店

〒475-0836 半田市青山4-21-5



0569-21-5789

事業所様向け

HANAFUKU 花贈りサポートプラン



お客様
従業員様の
「うれしい!」を
お花でつなぐ
ご提案

「花贈りのSTORY」を経営に。

ご予算、ご要望に沿ったオーダーメイドのプランを
ご用意いたします。お気軽にご相談ください。



お問い合わせ | 有限会社 はなふく 半田市北二ツ坂町1-10-10 ☎ 0569-23-2972



令和7年度
スローガン

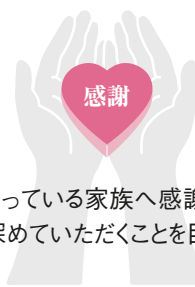
『NEXT10 デザイン』～未来的価値の創造～



半田YEG
LINE公式アカウント



家族感謝会 家族への感謝と活動の理解を！



本事業は、日頃より青年部活動を支えてくださっている家族へ感謝の気持ちを伝えるとともに、青年部活動への理解を深めていただくことを目的に開催しました。

当日は、マジックショーを取り入れることで、子どもから大人まで楽しめる雰囲気が生まれ、会場全体が自然と笑顔に包まれる和やかな時間となりました。その後、メッセージカードを通して、普段は照れくさくてなかなか伝えられない「ありがとう」を言葉にする機会を設け、会員とご家族が気持ちを共有する、心温まる時間となりました。

本事業を通して、家族への感謝を改めて伝えるとともに、青年部活動への理解を深めていただく機会となりました。

交流委員会委員長 山口雅彦(ファミリーモーター)



令和7年度スローガン 20年の歩み、愛と感謝を未来につなげよう！



視察セミナー(犬山) 所感



社会課題の解決に取り組むコトモファーム

1月14日、犬山視察研修を行いました。城下町には歴史ある街並みが残し、そこにおしゃれな今風のお店がとけ込んでいました。歩いているだけで楽しく、心が弾む景色が広がっていました。

コトモファームでは、障害者雇用を通して農業・商業・工業をつなぎ、地域課題の解決に取り組むお話を伺いました。提灯の絵付け体験やその後の意見交換を通して交流を深め、学びの多い一日となりました。

(有)共育舎 平林明美

伝統を重んじつつ個性・調和を保つまち

2025年に入会し、初の視察として犬山市を訪れました。“地域の伝統を重んじつつ、個々の人生観や個性を変えることなく協力し、調和を保ちながら商いへと繋げる姿”に感銘を受けました。

特にコトモファームの“農商工連携”は、支援の枠を超えて当事者の視点そのものを商いに変え、“ありのままの姿で社会貢献を実感できる調和の取れた仕組み”を実践しており、強い説得力を感じました。この貴重な学びの機会に感謝し、今後の活動において自分にできることから着実に実践してまいります。

miru-lab 内藤美貴

商工会議所を活用しませんか？

皆さま、商工会議所をどのくらい活用されていますか？「入っているけれど、あまり利用していない」という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しかし実際には、経営のヒントや支援につながるサービスが数多くあります。

創業・経営相談、補助金や助成金の情報提供、セミナーの開催、専門家による税務・労務相談など、事業の課題解決に役立つ取り組みを幅広く行っています。人手不足、物価高騰、デジタル化対応など、変化の多い今だからこそ、「相談できる場」が心強い支えになります。「本当に役に立つの？」と思われた方のために、実際に商工会議所を活用している会員さんの声をご紹介します。ぜひ参考にしてみてください。

業務課/チラシ同封サービス

チラシ同封サービスとは

当所会報誌「カイギショゲッポウ」に会員事業所の皆様のチラシを同封し、リーズナブルな価格で約2,500の会員事業所へ配布します。

(株)オオサカヤ

半田市柵町2-66-5 TEL／(0569)26-0120
<代表者名>瀧本 真

活用していかがでしたか？

自社製品の特別販売会の告知に利用させていただきましたが、部数の割に反応率が高いように思いますので、告知の内容に合っていたように思います。

事業所PRをどうぞ！

オーガニックコットンを使った国内生産の高品質なベビー服を製造・販売しています。オーガニックコットンの持つ柔らかい肌ざわりだけでなく、国内に数少ない機械で生産される専用開発の生地さらさらした肌触りが「きもちいい。」と評価されています。ご家族の出産準備だけでなく、複数アイテムを組み合わせたギフトセットもありますので、ぜひご相談ください。



中小企業相談所/大型展示会出展

当所では、会員事業所の販路拡大を後押しする取り組みとして、県外大型展示会に「半田商工会議所ブース」を出展しました。地元事業所の魅力を広くPRし、新たなビジネスチャンスの創出を目指した活動です。

ギャラリー イリマル

半田市銀座本町1-17 TEL／(0569)58-5800
<代表者名>榎原舞子

活用していかがでしたか？

SDGsを取り入れたアート作品や体験が都心の来場者にどの程度関心を持っていただけるかを目的に出展しました。来場者の意識は高く、作品や取り組みに対して熱心に話を聞いてくださる方が多い印象でした。また、普段接点のない企業の方々と名刺交換ができ、今後のビジネス展開につながる可能性を感じる出展となりました。体験教室についても、今後につながる話へと発展しました。

事業所PRをどうぞ！

展示と交流を楽しめる地域文化発信のギャラリー空間です。また、ガラス体験教室で、ものづくりの楽しさを発信しています。





1/7

新春議員懇談会・賀詞交歓会を開催

瀧上工業雁宿ホール視聴覚室にて新春議員懇談会を開催。松石会頭から、自身が昨年11月より会頭に再任したことに触れ、物価高騰や人手不足、コロナ禍借金返済の本格化など、中小・小規模事業者を取り巻く厳しい経営環境への強い危機感を示した。

また、人口減少や若年層の流出、個人商店の減少など半田市の課題にも触れ、交通基盤整備を起点としたまちづくりの重要性を強調。新任期では「共創」と「循環」を



理念に、①人材と雇用の循環、②中小企業・商業の再生、③地域内消費の循環と外部からの消費流入促進、④事業承継と小規模事業者の継続支援、⑤交通・都市基盤整備、の5つを柱とした政策を推進し、商工会議所自らも進化を目指す考えを示し、引き続き商工会議所活動への理解と協力を求めた。

また、久世孝宏半田市長より、年頭の挨拶と共に、今後も商工会議所との連携を深めていく意向が示された他、「住む人、働く人、訪れる人から『選ばれるまち』半田市へ」をテーマに、ゲストスピーチが行われた。

その他、(公財)愛知・名古屋2026アジア・アジアパラ競技大会組織委員会奥原英章氏より本年9月から10月にかけて開催される同大会の案内、運営に関する寄附願いがあったほか、(地独)知多半島総合医療機構知多半島総合医療センター大平周作氏より、ドクターカー更新に係るクラウドファンディングについて、協力案内があった。

当日の連絡報告事項等は以下の通り。

(1) 令和8年、令和8年度における役員議員事業所トピック、(2) 経営課題アンケート調査結果、(3) 1/15地域共創委員会「シビックテックセミナー」、(4) 半田市中心市街地活性化(5) はんだオープンファクトリー、(6) 青年部活動、(7) 知多地域就職情報センター「チタジョブ」ポータルサイト開設、(8) 年間主要行事予定(2026年1月～2027年3月)、(9) その他

賀詞交歓会、250名が参会

瀧上工業雁宿ホール講堂にて、久世市長を始め、地元選出の衆議院議員、愛知県議会議員ら来賓・官公庁関係者の他、当所役員議員・会員など約250名が参会し開催。この会は、新年の幕開けを会員事業所一同で祝おうと開催するもの。



冒頭、松石会頭から、主催者を代表し、新年の祝賀、参会への謝意を表す年頭挨拶を行った。

歓談時には、地元を中心に活躍されている「後藤トリオ※」による息の合ったJAZZセッションにて、交流がより一層弾むと共に、心地よい音色が会場を華やかに彩った。



※後藤トリオ

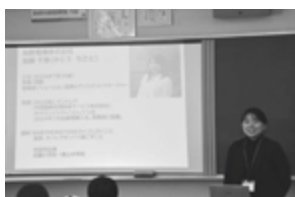
- ・Sax： 後藤勇人(ゴトウ ハヤト)
- ・Piano： 近藤有輝(コンドウ ユウキ)
- ・Bass： 北浦ゆたか(キタウラ ユタカ)

12/18

高校生×地元企業 PR事業「企業展 in Handa」を開催

愛知県立半田商業高等学校のキャリア教育の一環として、「高校生×地元企業PR事業」を実施した。

本事業は、生徒に地元企業への理解を深め、地元就職を促進することを目的に、当所会員12事業所が参加。半田商業高校2年生(約220名)を対象に、各事業所が企業紹介や仕事選びの参考となる助言を行った。



実施後の生徒アンケートでは、「働き方や就職への心構えが学べ、非常に参考になった」という意見が多く寄せられ、将来のキャリア形成に向けた有意義な機会となった。

1/10

にぎわいキャッシュバックキャンペーン 半田市中心市街地商業活性化にぎわい事業実行委員会

CLACITY1階にて、にぎわいキャッシュバックキャンペーン第2回抽選会を開催した。本キャンペーンは、市内商店街の対象店舗での買い物や飲食時のレシートを集めて応募でき、合計金額に応じてキャッシュバックが当たる企画である。

今回は9月・12月分のレシートを対象に実施し、第1回抽選会を上回る来場者が訪れ、会場は大いににぎわった。

当選者には「にぎわい商品券」が贈呈され、商店街への再来街を促すとともに、継続的な来街と消費拡大につながる事業として期待されている。



実行委員長／岸田裕一(半田ランブリングタウン(協組) 理事長)

1/15

シビックテック活用セミナーを開催 地域共創委員会

半田市民交流センターにて、シビックテック活用セミナーを開催し、22名が参加。本セミナーは、地域共創委員会の前身である地域力創造委員会の企画によるものであり、委員会の所管事項であるシビックテックをテーマに、今後の委員会活動や地域連携を進めるための基礎的知識の習得を目的として実施した。

名古屋工業大学の白松俊教授を講師に迎え、シビックテックの定義等の基礎知識に関する講演に加え、当所小栗副会頭との対談を行い、有意義な学びの場となった。



委員長／澤田貞雄(株沢田工務店)

1/20

経営を後押し！ 成長戦略セミナーを開催

「失敗も成功も、全部リアル」をテーマに、経営を後押しする新事業展開のための成長戦略セミナーを開催した。

講師には、CTリング(株)代表取締役の山本悠介氏を迎え、実際に事業を成長させてきた経営者の視点から、成功に至るまでの具体的なプロセスを解説いただいた。

試行錯誤や失敗事例も交えたリアルな内容に、参加者からは自社経営に直結する学びが多かったとの声が寄せられた。



1/20

新年新年祝賀会を開催 半田市商店街連合会

新年の挨拶および親睦を深め、商店街関係者相互の連携強化を目的として、新年祝賀会を開催。

商店街を取り巻く経営環境や課題について意見交換が行われ、相互理解を深める有意義な機会となった。

臨席いただいた松石会頭からも、地域経済の活性化について地元が盛り上がり、欲しいとのエールを頂いた。

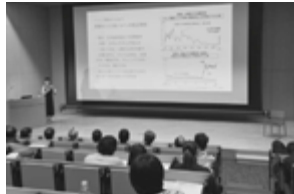


会長／野々村照義(長文種苗店)

1/22

部会講演会を開催 金融部会

知多信用金庫はしぎきホールにて部会講演会を開催し、金融関係をはじめ約70名が受講した。「地域経済の今」をテーマに、エコノミストの崔真淑氏が講演し、トランプ関税の影響は限定的である一方、円安の持続性や国内生産能力に課題があると指摘した。また、「昭和インフレ」と「令和インフレ」を比較し、省エネや契約設計、イノベーションによる生産性向上の重要性を示した。地域課題として若年女性流出に触れ、関係人口創出やIT産業誘致、データに基づく経営の必要性を強調した。



部会長／久富達也(知多信用金庫)

はんだミッション印ポンシブル 開催報告 はんだ商業まつり事業実行委員会

令和7年10月から12月までの3か月間、「はんだミッション印ポンシブル」と題したスタンプラリーを開催。

本イベントには136社の事業所が参加し、参加登録者数は1,656名にのぼった。これまで出向く機会の少なかった事業所を訪れてもらうきっかけとして、各所でサービスや賞品の提供が行われ、地域の魅力を再発見する機会となった。

また、最終企画として「Wチャンス」の抽選を実施し、15名に豪華景品が当選するなど、参加者から多くの喜びの声が聞かれた。



会員
ひろば

伊東合資 リブランディングオープン 伊東(株)、(株)亀崎Kamos

1月30日亀崎にある「伊東合資」がリブランディングオープンした。第1期として、風情ある景色で特別な料理とお酒を楽しむ「合資横丁おもだか」をはじめ、日本酒という食文化を伝える手作りの焼き菓子「LIERomi(リエロミ)」を新たに展開している。

今春には、レストランと宿泊施設の第2期オープンも控えている。



伊東合資HP

◆伊東合資

所在地／半田市亀崎町9-111

<蔵の店 かめくち>

<合資横丁>

各店舗の営業時間及び定休日はHPにてご確認ください。



半田赤レンガ建物からはじまる 事業者の新しい一歩

半田赤レンガ建物は、明治期に醸造業を背景として建てられた産業遺産であり、近代日本のものづくりと起業家精神を今に伝える場所です。酒や酢などの醸造文化を支えたこの地域の産業は、時代の変化に応じて技術を磨き、市場を切り拓いてきました。その挑戦の歴史こそが、この建物の本質的な価値であると考えています。私たちは、この遺産的価値を保存するだけでなく、「理解し、使い、次につなげる」ことで、現在の地域経済や新たな挑戦へと結びつけていきたいと考えています。

現在、半田赤レンガ建物では、展示ガイドの充実や学びの仕組みづくりとあわせて、具体的な事業連携にも力を入れています。その一つが、半田商工会議所流通部会が企画立案し、半田赤レンガ建物の協力により実現したマーケット企画「HANDA NOBEL」です。「事業者の新しいチャレンジを一つ実現する」をコンセプトに、2月7日・8日に開催しました。新商品や新サービスの試験的な販売、これまでにない組み合わせの提案など、事業者が一步踏み出すきっかけをつくる場となりました。かつての半田では、新しい試みが特別なことではなく、当たり前のように生まれてきました。その空気感を、今の時代に改めて取り戻そうとする試みでもあります。この取り組みは単発で終わらせるのではなく、継続的なチャレンジの場として育て、次の挑戦へとつなげていきたいと考えています。

また、半田赤レンガ建物には、年間を通して40万人以上の方が来館されます。併設ショップの利用者は年間25,000人を超え、赤レンガ建物の遺産的価値に関心を持つ観光客の方々や、地元の方が土産を求めて訪れる場所として定着しつつあります。来館者の多くは、歴史や文化への関心が高く、「半田らしさ」を求めて訪れる層でもあります。こうした来館者層に向けて、商品販売に挑戦してもらうための「トライアル販売」の仕組みを今後スタートします。既存商品のテスト販売や新商品の市場反応の確認など、実際の顧客と直接向き合える実証の場として活用していただければと考えています。単なる販売スペースではなく、磨き上げと改良を重ねる実践の機会です。

半田赤レンガ建物は、遺産を守る場所であると同時に、挑戦が生まれる舞台でもあります。歴史を背景に持つこの空間だからこそ、新しい取り組みに説得力が生まれます。関心のある方、チャレンジしてみたい方は、ぜひ半田赤レンガ建物までお問い合わせください。地域の中から次の一歩が生まれ、それが次の年、次の機会へとつながっていくよう、これからも具体的な取り組みを一つひとつ積み重ねていきたいと考えています。

文責 特定非営利活動法人半田市観光協会 事務局長 榊原宏



◀ HANDA NOBEL



編集人のつぶやき・ささやき・ぼやき

暦の上では春とはいえ、まだまだ風には、冬の名残を感じる今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。早くももう3月、いよいよ年度末です。ただし3月と言えば、半田市の祭礼の先駆け『乙川まつり』ですね。

各地区で違いはあるかもしれませんが、少しずつ、市内の稽古場や神社では、どこからともなく、笛や太鼓の音が響き始めるのではないかと思います。囃子の音色を聞くと、春が近いなと感じます。

先日『乙川まつり』で曳き回される山車の組み立て及び、試し曳きの様子を動画で拝見しました。雪か雹が降る中の組み立て、さぞ寒かったことでしょう。祭礼に携わる関係者の熱気は、それすらも凌駕していたかもしれません。

『乙川まつり』を皮切りに、各地区で開催される春の祭礼は、ただの伝統的な行事と言うのみならず、厳しい寒さを耐え抜き、春を前に人々の活気が混ざり合う「季節の始まり」の合図にも感じます。

先月のカイギショゲツボウを配布した際、祭礼に近い乙川地区の方々に、お話を聞くことができました。世代を超え、伝統を守り抜くということは大変ですが、怪我や事故無く、楽しく過ごしていただきたいと思います。あとはこれから4月にかけて、週末は晴天になることを祈るのみです。次号の編集後記も祭礼ネタの場合、ご容赦ください。

編集人 榊原鉄平



大切な時間を、見えるカタチで

出張写真撮影やSNS運用のサポート、広報代行などを行う『まものて』は、日常の中にある大切な瞬間を、自然なかたちで残すことを大切にしています。写真が好きだった父の影響で、私も我が子や愛犬の姿を日々撮り続けてきました。Instagramに投稿していた写真を見た友人から、運動会や入学式などの撮影を頼まれたことが、この仕事を始めるきっかけです。

『まものて』という名前には、母親としての視点を大切にしたいという想いを込めました。私自身、3歳から10歳までの4人の子どもを育てる中で、かきこまった写真よりも、その子らしい自然な姿を残したいと感じてきました。卒園式ではお気に入りの場所で遊ぶ姿を、入学式では大好きな鉄棒と一緒に撮影しました。「今、夢中になっていること」や「好き」が写る写真こそが、未来へ届ける最高の記録になると考えています。そうした自然体な写真をきっかけに、最近では「普通の選挙ポスターはイヤだから、あなたにお願いしたい」とお話をいただき、撮影からデザインまで担当する機会もありました。



ママの手と、お子さんの成長していく姿と一緒に写すことは、未来へ残る「見える成長記録」につながります

お宮参りなどの撮影では、事前にご家族とお会いし、当日は着付けから参拝まで数時間をご一緒します。単なる撮影係ではなく、同じ時間を過ごす中で空気感を共有することが、そのご家族らしい表情を引き出す鍵だと感じています。母親としての感覚も活かしながら、お子さんの自然体や、その瞬間の「家族らしさ」を丁寧に残しています。

個人の方だけでなく、店舗や企業のSNS、LINE、Web発信に関するご相談も増えてきました。打ち合わせでは直接お会いし、その方の想いや価値観を丁寧に伺うことを大切にしています。飲食店では料理だけでなく作り手の姿を、不動産では物件だけでなくそこで働く人の表情も一緒に写すことで、「その事業らしさ」が伝わる写真になると考えています。

撮影の場では、主役はあくまでお客様です。私は空気に溶け込むように寄り添い、その人らしい自然な瞬間を引き出すことを心がけています。一方で、地域で活動する中で「顔を覚えてもらうこと」も大切だと感じ、親しみを持って声をかけていただけるよう、トレードマークのパーマヘアで自分らしさを表現しています。

2024年3月に創業したものの、創業当初は、胸を張って「事業を行っている」と言えるほどの自信はなく、手探りの中で事業を行っていました。そんな時にPTAのつながりを通じて、半田商工会議所の『はんだなごみ(和)サポート』をご紹介いただきました。2024年度に7名の採択者の一人として助成を受け、それを機に事業主の自覚も芽生え、自分の事業と改めて向き合い、これから何を届けていきたいのかを考える時間が増えました。周りのお母さんたちからの撮影依頼のお声がけも多くなり、支援をいただいたことで、仕事への責任感や意識が大きく変わりました。

支援を受けた後も、助成を受けた仲間との交流が続いています。月に一度、『pivot』で近況を報告し合い、情報交換を行う時間があります。同じように挑戦する仲間存在に刺激をいただいています。

また、商工会議所事業の『新入会員ウエルカム交流会』にも参加し、新たな出会いの機会をいただきました。地元半田で暮らしているが知らなかった企業や人との繋がりが生まれ、地域の中で学び合える環境の心強さを実感しています。交流の場では、半田の地ビールを味わう機会もあり、地元の魅力を改めて身近に感じる時間となりました。

仕事を始めてから、「イキイキしているね」「楽しそうだね」と声をかけていただくことが増えました。私自身、事業を通して人と関わる機会が広がり、少しずつ自分の中の意識も変わってきたように感じています。子育てでも、すべてを抱え込むのではなく、家族の協力を得ながら少し手を離して見守ることで、子どもたちの自主性が育ってきたと感じる場面が増えました。見守ることで、子どもたちが自分で挑戦する力を伸ばしていることを嬉しく思っています。

私は起業という形で社会と繋がる一步を踏み出しましたが、10年間の専業主婦時代は社会との距離に悩む日々もありました。「今は子育ての時期」と自分に言い聞かせながら、資格取得や学びを重ねていましたが、やはり社会と関わりたい気持ちは消えませんでした。働きたいと思っても、すぐに保育の環境が整うわけではなく、乳児を育てながら仕事を探すのは容易ではありませんでした。生活リズムや家庭との両立を考えると選択肢は限られ、歯がゆさを感じながら過ごしていた時期もあります。

子育てをしながらも、自分らしい働き方を模索している方は多いのではないのでしょうか。現在は、子育てをしながらでも安心して一步を踏み出せる場づくりについても、仲間とともに少しずつ構想を進めています。写真や広報の仕事を通じて得た経験を活かしながら、これから挑戦したい方の背中をそっと支えられる取り組みも考えていきたいと思っています。

写真を通して大切な時間を未来に残し、地域の中で人と想いをつなぐ存在でありたい。『まものて』は、そんな想いととも、これからも地域の中で歩んでいきます。

写真・広報支援 まものて

富永さおりさん

TEL/070-2032-5877



Instagram

登場者募集中!

あなたの周りに輝いている方はいらっしゃいませんか! 男性・女性・自薦・他薦は問いません。ご連絡をお待ちしています。TEL.21-0311(広報チーム)



もっと人へ。健やかな街づくり
八洲建設株式会社



ZEB
Net Zero Energy Building



もっと人へ。
もっと多様に。
未来に誇れる街づくり。



愛知県半田市吉田町1丁目60
Tel : 0569-27-8400
URL: <https://www.yashimaltd.com/>



洗練されたリーガルサービスを発信する

地域に開かれた存在であるとともに、
常に先端のリーガルサービスを提供し続けることをポリシーとし、日々研鑽を続けています。

まずはご相談ください

当事務所の特長



個人、法人問わず、当地域のみなさまの悩みごと、心配ごとを解決できる存在でありたいと考えています。中小企業法務から、交通事故、相続、離婚、債務整理などの民事・家事事件、刑事事件に至るまで、弁護士業務の幅広い分野に対応しています。また各分野に対応方針を策定し、お客さまの弁護士選びの一助となるよう心がけています。

当事務所の強み



知多地域で唯一、中小企業診断士の登録をした弁護士であり、法人のみなさまに経営理論を踏まえたアドバイスが可能です。また、特に交通事故の分野において取扱実績が多く（交渉、訴訟案件で1000件以上）、他の法律事務所に比べて豊富な経験と実績があります。他に特徴的な分野として、寺院、接骨院、福祉団体の業務を得意としています。

夜間・休日対応、良好なアクセス



夜間や休日のご相談も承ります。名鉄知多半田駅前の事務所で、専用の無料駐車場も併設、どの地域にお住まいの方でも非常にアクセスが良好です。ビル内にはエレベーターもあり、車椅子で相談室にそのまま入りいただけます。また相談室は個室となっておりますので、お子さま連れでの来所も可能です。



弁護士・中小企業診断士
榊原 顕太郎



榊原 顕太郎法律事務所

Sakakibara Law Office



半田市昭和町一丁目35番地 半田名鉄南館ビル3階

TEL:0569-84-1784 FAX:0569-84-1785 MAIL:sakakibara@sakaki-law.jp

営業時間 平日／午前9時から午後5時30分 ※休日・夜間のご相談予約も承ります (平日営業時間内にご予約下さい)